

令和6年度 学校経営方針

1 教育方針

教育基本法・教育諸法・長崎県教育方針・佐世保市教育方針に基づき、教育公務員としての自覚に立ち、信頼と愛情を基盤として保護者や地域・行政との連携のもとに地域に開かれた教育課程を展開し、生命を尊重し、新しい時代を生き抜くためのたくましさと豊かな心を備えた子どもの育成を目指す。

2 教育目標

【 学校教育目標 】

夢をもって自ら学び、心身ともに元気で、豊かな心をもつ児童を育成する。

『 夢 元 気 心 』

～ 一人一人の笑顔が輝く学校 ～

【 目指す児童像 】

- 「夢わくわく江小の子」 (知) : 夢をもち、自ら学び、実践する子ども
- 「元気もりもり江小の子」 (体) : 元気に活動し、最後までやりぬく子ども
- 「心きらきら江小の子」 (徳) : 明るく思いやりのある子ども

【 目指す学校像 】

- 創意工夫ある教育活動を実践する活力ある学校
- 健康で生き生きと活動する元気のある学校
- 思いやりと明るさとふれあいのある学校

【 目指す教師像 】

- 誠実で、使命感と情熱をもって夢を語る教師
- 向上心を持ち、より良き授業を探究する教師
- 人間的な温かさで心を磨く教師

3 経営方針

(1) 豊かな心の育成

① 心の教育の推進

児童の共感的理解を深め、心の通い合う教育を推進し、好ましい人間関係の育成を図ると共に、日々の生活における基本的な生活習慣を家庭・地域と連携して身につけさせる。

② 道徳教育の推進

児童がよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

③ 人権教育の推進

人権を尊重し、平和を愛する教育を推進し、国際社会で自立し、共生できる児童を育成する。

④ 教育環境の整備充実

「環境が人をつくる」と言われる。清潔で美しく心が安らぐとともに、安全で学びの場にふさわしい教育環境作りに努める

(2) 確かな学力の定着

① 教育活動の充実

全教職員の共通理解と協働態勢のもと、伝統と創造を構築し、創意工夫ある教育活動を展開する。

② 授業の充実

学習規律の徹底、基礎的・基本的事項の定着、主体的・対話的で深い学びの実践

③ 校内研修の充実

児童に確かな学力の定着と豊かな心を育むとともに、教職員としての資質や専門性を高めるため、学校としてより組織的、計画的、継続的な実践研究を重ね、教育活動の一層の充実・改善を図る。

(3) 健康・安全の向上・食育の推進

① 体力の向上

基礎体力の伸長を図り、体力の向上を目指す。

② 保健・安全の充実

自他の命を大切に安全指導の徹底を図る。又、保健衛生習慣の確立を目指す。

③ 食育の推進

食の安全や栄養指導、給食指導など、食育の充実発展に努める。

(4) 家庭や地域との連携

① コミュニティ・スクールの推進

共育目標の具現化・実践化

② ふるさと教育の充実

郷土愛を育む、家庭や地域の教育力の活用、相互理解と連携の強化

③ 家庭と連携した学びの習慣化

学校と家庭での学習のサイクル化

4 本年度の重点目標

○学年末を見通した取組（学期ごとに達成状況を確認）

□1学期：にこにこ（安心）期間

- ・「学校が楽しい」と思える支持的風土のある学級づくり、仲間づくり
- ・基本的な生活習慣、学習規律、家庭学習の定着

□2学期：じっくり（充実）期間

- ・授業の充実（ビシッ・ガヤガヤ・シーン・ビシッ）
- ・生活科、総合的な学習の充実

□3学期：かがやき（達成・感謝）期間

- ・1年間の学びの価値づけ（学習発表会 等）で「みんなで、できた」の共感
- ・1年間の学びを支えてくださった方への感謝「みんなに、ありがとう」を伝える

○夢わくわく

□楽しい授業 わかる授業の実践（授業改善）

- ・校内研修の充実 ・めあての明確化 ・「わかった」をまとめる
- ・主体的・対話的で深い学び ・「学びに向かう力」の育成

□学習規律（あいさつ、返事、めあて、まとめ） 家庭学習の徹底

- ・全学年共通した実践 ・「江迎小 学習のかまえ」「家庭学習の手引き」の活用

□基礎学力の定着

- ・個別、全体の学習状況把握 ・課題改善 ・家庭学習への取組 ・かがやきタイム

○元気 もりもり

□笑顔にあえる あいさつ

- ・全学年共通した実践

□基本的な生活習慣の確立

- ・生活指導目標の共通実践 ・保護者との連携

□給食指導・無言清掃指導の徹底

- ・衛生指導 ・食物アレルギー対応の徹底 ・全学年共通した実践

○心きらきら

□感動と笑顔にあえる 教育活動（地域との連携・協働）

- ・学年ごとの特色ある活動の実践と見直し ・コミュニティ・スクールの推進

□読書習慣の確立

- ・読書環境の整備 ・学校司書、図書ボランティアとの連携

□道徳授業の充実

- ・道徳授業の実践 ・教育活動全体での実践 ・家庭・地域との連携

○教育環境の整備

- ・デジタル化の整備 ・校内の環境美化（職員室、教室、特別教室等）
- ・掲示教育の充実 ・校舎周りの環境美化（学校園、学級園、敷地内等）
- ・適切な言語環境づくり ・読書環境 ・SSW、SC との積極的な連携

○働き方改革・働きがい改革の推進

- ・意識改革 ・業務の見直し、改善 ・定時退庁日の設定
- ・教頭の定時退庁日の設定 ・地域との連携